

舟唄

【作詞】阿久悠
【作曲】浜圭介

□□

お酒はあぶため
肴はあぶたひ力
女は無口なひと
明かじりほめん
しみじみ呑めばし
想い出だけが行き
涙がいぽりこぼれ
唄い出すのさ舟唄
沖のモメに深酒さ
愛しあ娘とヨ朝寝
するダンチヨネ

店には飾りがない
窓からは港が見え
はやり歌などない
時々霧笛が鳴れば
木口木口呑めば口
心がすすり泣いて
あの頃あの娘を想
唄い出すのさ舟唄
ポツポツ呑めばポ
未練が胸に舞い戻
夜更けて寂しくな
唄い出すのさ舟唄
ルル・・・

舟唄

作詞】阿久悠
作曲】浜圭介

1 / 2



1. お酒はあぶぬるためのの
肴はあぶなひといが
女は無口なひとり
明かりはぼんやり
とみりゃいんやり
しみじみ呑めば
想い出だけが行き
涙がいぽれたら
唄い出すのさ舟唄を

沖の力モメに
深酒させヨ
愛しあの娘とヨ
朝寝するダンチヨネ



舟唄

作詞】阿久悠
作曲】浜圭介

2. 店窓は時々霧りらは
あ心木口笛の港飾
いのが口々やかに
出頃す木笛が歌が
すあす口笛の港飾
ののり呑が歌が
さ娘めなが
舟を泣ば鳴ど見
唄想い木れなえな
をって口ばかりい
たい木いてやが
らる口いいいい
と いいいい

ポツポツと
末練がポツ
夜更けが胸ツ
唄い出けて
ルル
すて胸ツ
の寂に呑
さし舞め
舟くいば
唄な戻ポツ
をったるポツ
たなら